



コミュニティ・スクールだより

おおやぐち

令和7年度 第2号

令和7年 9月16日
板橋区立大谷口小学校

PTA会長 佐藤 香織
校長 宮澤 竜太郎

第2回 板橋区コミュニティ・スクール(iCS) 委員会のご報告

第2回板橋区コミュニティ・スクール(iCS)委員会を9月9日(火)に実施しました。1学期を振り返り、学校の現状について、また、大きな学校行事が控える2学期に向けた取組などについて報告し、委員の皆様より御意見・御感想をいただきました。熟議では、子供たちの普段の様子から、子供たちの課題や委員の皆様の子育ての経験も踏まえた家庭でできること等について御意見をいただきました。なお、今回は板橋区教育委員会より、地域統括コーディネーターと事務局の方にも御参会いただきました。

委員会 次第

9時30分～11時30分

場所：大谷口小学校 ランチルーム

- 内容：1 委員長挨拶
2 学校長より挨拶
3 全国学力学習状況調査の結果分析、1学期の振り返りと2学期の教育活動
4 熟議「学校の近況と子供たちの様子と子育てについて」
5 事務連絡



校長より

1 全国学力学習状況調査の結果分析、1学期の振り返りと2学期の教育活動

- 6年生学力テスト結果(10月学校便りで詳細)実施教科で全国平均を上回る。質問紙から課題も見える。
- 5年生及び6年生の宿泊学習→予定の行程を実施(天候の影響を受けず)
【成果】5分前行動、仲間との協力、助け合う姿を通して友情を大いに深める機会となった。
- くずの葉フェスティバル(7月9日)→6年ぶりの実施だったが、子供たちの意欲的な活動の様子が至る所で見られ、保護者アンケートも大変好評をいただいた。実施時期は成績作成にかかるため、検討事項。
- 凡事徹底。学習道具の忘れ物が目立つ。身だしなみの再確認、廊下歩行には課題が見られる。
- 大谷口サポーターズの学校支援→大変助かっている。引き続きご支援をよろしくお願いします。
- 不登校対策 学校の居場所づくりに向けて

熟議「学校の近況と子供たちの様子と子育てについて」

委員の皆様より

委員の皆様から、御自身の子育ての経験等を踏まえて感じることに御意見をいただきました。

- 核家族化する前は祖父母等必ず家庭に誰かいて、子供の面倒を見てくれていた。今の時代は大変だと感じる。
 - 子ども110番など、子供たちを見守る体制もある。子供たちが気軽に立ち寄れる場所が今後増えてほしい。
 - 地域・保護者同士のコミュニケーションについて、環境が変化している。子供たちが安心して夜に遊ぶお祭り、盆踊りなども減っている。
 - (現役子育て世代の親の立場として)子供たちを叱ることが多い。褒める2、叱る1を心がけていきたい。
 - (現役子育て世代の親の立場で)兄弟姉妹から、「末っ子がかわいがられている」と、上の兄弟姉妹から指摘されたことがある。そんなつもりはないのだが、同じように一律に子育てするのは本当に難しい。
 - (学力調査の結果から)「学校へ行くのが楽しい」と多くの児童が答えている。先生方の頑張りに尽きる。
 - 不登校対策として、居場所づくりについて、先行している学校の事例を参考に、今後検討してほしい。
 - 日常の生活から、子供を褒める材料を見付け、家庭の会話の中で月に1回でも褒めてあげることが大事。「well being」の視点で、保護者と教員が連携できることで、様々な好循環が生まれる。
- ・・・すべて掲載できませんが、様々な御意見をいただきました。

次回の予告

第3回コミュニティ・スクール委員会は、給食試食会を兼ねて、
令和7年10月31日(金)11:00より、ランチルームにて行います。

(文責 校長 宮澤 竜太郎)